

RAKUWA

地域のために 地域とともに

Vol.155 2026
NEW YEAR

新年のごあいさつ

特集

患者さんの思いを大切に

洛和会音羽記念病院

の

透析 治療



2月11日(水・祝)は、洛和会の各医療施設において通常診療を行います。※一部診療科を除く

地域医療と街づくり

本年は、新たな地域医療構想の策定が実施される1年となります。機能分化や医療・介護連携など、これまで洛和会ヘルスケアシステムが取り組んできたことが、国の重要課題として位置付けられています。

洛和会音羽病院は、京都東部エリアの地域医療を守る“最後の砦”として、急性期拠点病院を目指し、持続可能な新棟計画を着実に前進させてまいります。また、医師をはじめとする医療従事者の確保をさらに強化し、地域に「なくてはならない存在」であり続けるために、不退転の決意で地域医療と街づくりに臨みます。

医療の根幹は「人」にあります。現場の声を反映した福利厚生の充実と多様な働き方の支援を通じて、職員が安心して働き続けられる環境を創り、より良い医療の提供につなげていきます。この好循環を、医療を中心とする全ての事業で対応し、職員とともに地域を支えてまいります。

本年は、地域医療連携推進法人Just2Ys League(ジャスティスリーグ)をさらに推し進め、同時に、従来の枠にとどまらず、「病院が街に出ていく」挑戦を続けます。スマート農業によるトマト事業「らくの助ファーム」のように、医療で培った資源を地域に開放し、病気を治すだけでなく、文化・スポーツ・芸術といった地域との接点を活かして、地域全体の健康と暮らしを支えるコミュニティのハブを目指します。

職員が安心して働く基盤を固め、地域とともに未来を創る。この両輪を力強く回し、「やさしい社会を創造する。」という使命を果たすことで、私たちは地域になくてはならないリーディングホスピタルであり続けます。

洛和会ヘルスケアシステム
理事長 矢野 裕典



愛人者 人恒愛之 敬人者 人恒敬之

人を愛する人は、常に人に愛され、人を敬う人は、常に人に敬われる「五常の徳（仁・義・礼・智・信）」を説いた中国戦国時代の儒学思想家の“孟子”的言葉です。人を愛し、人を敬い、謙虚で穏やかな一年を過ごしましょう。

洛和会丸太町病院

病院長 細川 豊史



わ げん あい ご 和顔愛語

穏やかな笑顔と優しい言葉で人に接することの大切さを説いた言葉です。自分自身の心が穏やかになるとともに、周囲にも良い影響を与えることができるよう、いつも笑顔と優しい言葉を心掛けていきたいと思っています。

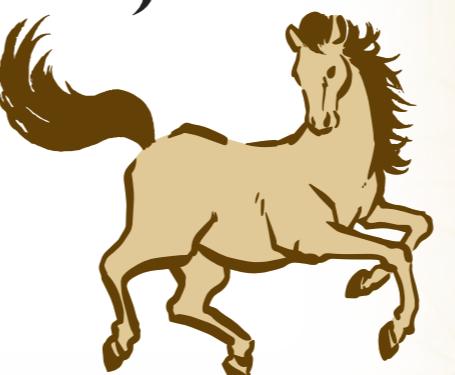
洛和会音羽病院

病院長 黒田 啓史



あけまして
おめでとう
ござります

本年も
よろしくお願ひ
申し上げます



ばんり いっくう 万里一空

「目標や目的に向かって、やるべきことを見失わず努力し続けること」という意味があります。患者さんに適切な治療を受けていただけるように、スタッフ全員で努力し続けていきたいと思います。

洛和会音羽記念病院

病院長 廣川 隆一



わ げん あい ご 和顔愛語

穏やかな笑顔とあたたかな言葉を大切に、職員とともに地域の皆さまの健康を支えます。誰もが安心して暮らせる明るくやさしい社会の実現に尽力してまいります。

洛和会
音羽リハビリテーション病院

病院長 堀井 基行



「強い意志と 熱い情熱をもって、 明るく勇敢に素早く」の年

謹んで令和8年、西暦2026年の新春の祝詞を申し上げます。

今年の干支は丙午です。丙は十干の3番目で陽の「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、強い意志、生命のエネルギーを意味するといわれます。午は十二支の馬のことで、駿足で人を助けてくれる存在ですが、同じく陽の「火」を表し、行動力やスピード、エネルギー、勢いがあり、勇敢で強い独立心を表すといわれます。従って、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」とされます。洛和会にとって、現在直面する多くの課題を解決し、さらに高いステージに向かって突き進む年になります。

昨年の年初の挨拶で、大きな転換点が来ていて、従来の考え方では対応が困難な新しい価値観が生まれる予感がすると述べました。患者さんや利用者さん、そのご家族のためにという基本原理を基盤として、従来のやり方や考え方、内外の枠組みを一から見直して改革することが、今、最も重要なことになっています。改革には時に混乱や痛み、抵抗を伴いますが、洛和会が一体となって「強い意志と情熱を持って素早く勇敢に」そして「明るく」課題に立ち向かって解決してゆく年にしたいと思います。

洛和会ヘルスケアシステム
副理事長 樋口 敏宏



洛和会音羽記念病院の透析治療

透析治療を受けている患者数は全国で約34万人といわれています。京都府内で最大級の透析センターを有する洛和会音羽記念病院では、透析導入のためのシャント手術から維持透析まで“透析患者さんお一人お一人の希望する生き方”に寄り添った治療を、医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士など多職種がチームとなり一緒に考え、患者さんを日々支えています。

洛和会音羽記念病院
透析ベッド数 入院ベッド数
146床 133床
730人*対応可能
※月~土曜日の総対応可能人数

透析の導入もスムーズに

安心・安全・高度な手術ができる体制



当院では、血液透析に必要なシャント手術やシャントPTAなどのブラッドアクセス治療、腹膜カテーテル関連手術などを行っています。また、人工血管シャントやシャント瘤切除などの手術も多数実施しています。

年間の手術実績が多い

手術実績件数（シャントPTA含む）
2023年度 2,164件 2024年度 2,342件

急なトラブルにも迅速対応

ブラッドアクセスセンター

洛和会音羽病院・洛和会音羽記念病院の相談窓口を統合し、急なシャントトラブルにも速やかに対応できる体制を整えています。ブラッドアクセス担当医師が患者さんの状態に合わせて受入病院を選択・決定し、患者さんの治療に適した提案をしています。

遠方の患者さんへも支援

4院連携で安心のフォローアップ

洛和会では2つの病院と2つのクリニックで透析治療を提供しており、4院が協力・連携しています。クリニックの患者さんに手術が必要な場合は、洛和会音羽病院や洛和会音羽記念病院で迅速に対応できるため安心です。また、通院や入退院時の負担を少しでも軽減できるよう、車いすやストレッチャーにも対応可能な車両を手配するなど、送迎支援サービスをご用意しています。



ライフスタイルに合わせて選べる

オーバーナイト透析を実施

夜間の睡眠時間を活用し7~8時間かけて行うため、より多くの尿素素が除去され**体への負荷が比較的少ない**ことが特長です。日中の時間を有効に使えるため、働き盛りの方も仕事との両立がしやすいという利点があります。

オーバーナイト透析についての
詳細は[こちら](#)



外来透析

※祝日も透析を行っています ※時間は前後する場合があります

	月	火	水	木	金	土
早朝	午前7時30分~(月・水・金曜日) 午前8時00分~(火・木・土曜日)	○	○	○	○	○
午前	午前8時30分~	○	○	○	○	○
午後	午後2時~	○	○	○	○	○
夜間	午後6時~ ※最大午後11時30分終了まで	○		○	○	
オーバーナイト	入室時間:午後9時~午後10時30分 退室時間:翌朝午前4時~6時まで	●		●		●

タイムスケジュール例

21:00	入室 (21:00~22:30)
22:00	透析開始
	回診
23:00	フロア消灯
	↓
5:00	透析終了
6:00	退室 (4:00~6:00)

透析患者さんに多い“創傷”をケアする

京都下肢創傷センター

壞疽、下肢潰瘍の集学的治療を行う専門外来「京都下肢創傷センター」を設置しています。透析中に専門医が回診しながら創傷ケアを実施し、糖尿病性壞疽、閉塞性動脈硬化症(ASO)、静脈性潰瘍などのさまざまな慢性創傷の診断・治療にも力を入れています。特に、潰瘍を伴う重症の閉塞性動脈硬化症に対しては、吸着型血液浄化器(レオカーナ)を用いた治療も行っています。創傷外来目的のゲスト透析も隨時受け付けています。



介護が必要な患者さんも安心

洛和ヴィラアエルとの連携

隣接の介護老人保健施設「洛和ヴィラアエル」と連携し、**介護が必要な透析患者さん**を支援しています。通院が困難な方の入所や、退院後から在宅復帰までのショートステイ利用など、さまざまなニーズに対応しています。

確かな技術と真心で患者さんを支える

当院には、さまざまな診療科を経験した熟練の医師が多く在籍しており、広い選択肢から最適な治療法を提示できる体制を整えています。特にブラッドアクセストラブルへの対応に多数実績があり、重症例の入院などもスムーズに受け入れています。また、透析専任の看護師や臨床工学技士、リハビリ職などスタッフの能力も高く、チーム医療で患者さんをサポートできる点が特長です。これからも、**スタッフ皆で透析患者さんに寄り添い“頼れる存在”**となれるように成長し続けたいと考えています。

洛和会音羽記念病院 脾臓透析外科医長 澤田 幸史



透析治療について
わかりやすく解説しています



お問い合わせ

洛和会音羽記念病院

TEL 075(594)8010(代)

ブラッドアクセスセンター 医療機関専用ダイヤル

TEL 075(594)8015

ホームページ



前立腺がん

疑いありと診断されたら、
どうしたらいい!?

近年、高齢化率の上昇や食生活の欧米化により、前立腺がんの罹患率は著しく増加しています。しかし、PSA(前立腺特異抗原)検査の普及により、早期に発見されるケースも増えつつあり、適切な治療を受けることで良好な予後が期待できます。

洛和会音羽病院 泌尿器科副部長

増田 憲彦

がん罹患数の順位(2021年)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

出典:全国がん登録罹患データ



当院の前立腺がん診療の流れ

前立腺がんの疑い PSA検査



PSA検査が早期発見のカギ

初期の前立腺がんは、ほとんど自覚症状がありません。排尿困難や血尿などのトラブルに気付いたときには、すでに進行がんになっている可能性が高く、早期発見には前立腺腫瘍マーカーPSA検査が有効です。採血によって前立腺に特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定し、前立腺がんの可能性を見つけることができます。PSAの値が高い人ほど前立腺がんが発生している確率が高く、基準値以上の値が出た場合には、生検を行ったうえで確定診断を行います。

体に負担の少ないロボット支援下手術

近年では、ロボット支援下手術が主流になっており、当院でも「ダヴィンチ」を導入しています。低侵襲という腹腔鏡手術の特長を生かしながら、ロボット機能の支援によって人がもつ柔軟性と機械がもつ精密性を合わせた手技が可能になりました。従来の開腹手術や腹腔鏡手術よりも精緻な手術ができるようになり、患者さんにとっては、傷跡が小さく、出血量も抑えられるため、術後の痛みが軽減され、入院期間の短縮や日常生活への早期復帰が期待できます。



根治を目指す前立腺全摘除術

ダヴィンチによる前立腺全摘除は、おなかに小さな穴を6ヵ所あけ、ダヴィンチをドッキング(装着)し、穴からロボットの鉗子やカメラなどを挿入して、前立腺と精嚢を摘出後、膀胱と尿道をつなぎ合わせます。手術時間は通常2~3時間程度で、入院は2週間程度必要になります。腫瘍の取り残しが少なく、がんが前立腺内にとどまっている限局がんの患者さんにおいては、根治の可能性が高い治療法です。一方、進行がん(局所浸潤がん)の患者さんの場合は、はじめに内分泌療法でがんを小さくしてから手術を行ったり、手術の後に放射線療法や内分泌療法で加療したりすることで根治できる可能性が高くなります。

術後の尿失禁と性機能障害

前立腺の全摘除術はいずれの手術法でも尿失禁や性機能障害といった合併症がある程度起こります。尿失禁は、術後すぐには尿もれパッドが必要なほどですが時間の経過とともに改善し、3カ月前後で元の状態に戻ります。ロボット支援下手術の場合、がん組織をより正確に切除することができ、周囲の正常な組織へのダメージを最小限に抑えられるため、機能の温存や早期回復が見込めます。ただし、腫瘍の位置や大きさによっては周囲の神経や血管を温存することによる「取り残し」のリスクが高まるため、事前に十分な検討が必要です。

術後の生活を見据えた治療を

手術後の生活が手術前と比較して極端に制限を受けるようでは良い治療とは言えません。当院では経験豊富な医師が、術後の生活を見据え患者さんの体の負担を最小限に抑えた診療を行っています。

音羽病院のがん診療の特長

POINT /

1. PET-CT・超音波検査・生検などの精密検査が院内で一括して行える
2. ロボット支援下手術が可能で早期生活・社会復帰が可能
3. 薬物療法・放射線療法も院内で実施できる

音羽病院で実施された「前立腺がん」診療実績
(2024年1~12月)

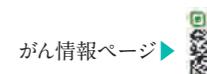
前立腺生検	75件
前立腺がん(進行がん含む)	108件
前立腺全摘除術(ロボット支援下手術)	22件

前立腺がん検診に関する情報はこちら

洛和会音羽病院 健診センター



お問い合わせ 洛和会音羽病院 TEL 075(593)4111(代)



気になる症状があれば、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

共に歩む 洛和会CSR活動

住みよい街を目指して 京都市山科区と連携を強化！

洛和会は2024年3月に地域の活性化を図ることを目的とした包括連携協定を、京都市山科区と締結。「やさしい社会を創造する。」という当会のバーパスを実現すべく、京都市が進める「meetus 山科・醍醐 みんなで創る まちPLAN」の実現に向けて共創しています。

meetus とは？

京都市が行っている地域活性化プロジェクトのこと。
地域の魅力やポテンシャルを最大限生かしながら行政と地域企業や事業者が協力し、あらゆる世代がワクワクするような山科・醍醐を目指します。



2025年9月には
meetusで描く
まちの将来像の実現に向けた
10の取り組みについて
山科区と合同発表しました！

例えば…

山科区と健康教室を共同開催！



地域の方々を対象に、医療や介護の専門家が健康に役立つ情報を分かりやすく解説する講演会「らくわ健康教室」。昨年10月20日、当会の理学療法士による体を動かしながら学ぶ体験型講演を「クイズdeたのしく健康ウォーキング（同月29~31日開催）」のイベントとして山科区と初めて共同開催しました。

山科区への定住・移住の促進

当会の福利厚生である、やましな住宅購入応援手当（総額300万円）と京都市の「京都安心すまい応援金」（最大200万円）との併給を可能にすることで最大500万円の補助を実施。また、災害時の病院体制を迅速に確保するため、山科市営住宅の空き住戸にエッセンシャルワーカー枠として5戸確保し、当会職員が入居中。同集会所にて毎月住人向けの健康教室も開催しています。



他にも…



山科区内の新一年生に
防犯ブザーを寄贈



インクルーシブ遊具を洛和会音羽病院
敷地内の「なかよし広場」に設置



障がい福祉施設「洛和ケアセンター ととのう」、
障がい福祉に関する相談センター「こより」の開設

etc...

今よりもっと住みよい街になるよう、
当会は山科区と連携しまさまな取り組みを実施してまいります！

京都ハンナリーズ×洛和会丸太町病院 協賛試合決定！

洛和会丸太町病院 presents
京都ハンナリーズ vs
アルティーリ千葉
いっしょにハンナリーズを
応援しよう！

2026年2月7日(土)・8日(日)



★ ハーフタイムキャラクターショー
らくの助／ワルの助／はんニヤリン出演！

★ 洛和会丸太町病院ブース出展！

- ✓ InBody健康測定
- ✓ 体力測定無料体験
- ✓ 「らくの助ファーム」トマト販売

「健康な暮らしを、もっと身近に。」ご来場の皆さんの「健康」と「笑顔」を応援します。お気軽に立ち寄りください！



洛和会 IKOU シートの新設

- ・IKOUポータブルチェアが1つ付属したグループシート（4人席）を販売。

- ・4人席が3人分の価格でご購入いただけるお得なシートです！



チケット購入は
こちらから▼



※B.LEAGUE会員（無料）の登録が必要です。

京都ハンナリーズのゴールドパートナーとして応援

洛和会丸太町病院は肩・ひざを中心とした「スポーツ×整形」を柱とする診療体制のもと、地域のスポーツ振興と競技者の健康支援に注力してまいりました。その一環として京都を拠点とするプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」の活動に賛同し、2025-26シーズンのゴールドパートナーとしてチームを応援しています。また、当院の医師はプロバスケットボールリーグのマッチドクターとしても活動し、競技者をサポートしています。スポーツを通じた地域貢献をさらに推進し、皆さんの健康意識の向上にも寄与してまいります。

Kyoto Music Caravan 2025 ファイナルコンサート 「みんなのやさしいコンサート」開催！

洛和会音羽病院が協賛しているKyoto Music Caravan 2025。

3月14日（土）に開催されるファイナルコンサートは、声を出しても客席で動いてOK！障がいのある人も、大人も子どももみんなで一緒に楽しめるコンサートになっています。

開演前には当会の音楽療法士たちによるプレコンサート、「Music Here, Music Now～今この瞬間の音楽を、一緒に創り出そう～」を開催♪ 皆さんぜひお越しください！

みんなのやさしいコンサート概要

日 時：2026年3月14日（土）14:00開演（15:00 終演予定）
会 場：京都コンサートホール 大ホール

詳細はこちらから▶



お話・ピアノ
田村 緑



©Shigeto Imura

パイプオルガン
濱野 芳純



©Takafumi Ueno

ヴァイオリン
石上 真由子



©Mami Ishiura

フルート
森本 英希



©Hiroki Morimoto

テューバ
潮見 裕章



©Hiroaki Tsumaki

パークッシュン
齋藤 綾乃



©Ayano Saito

洛和会の施設でコンサートを実施！ 洛和会ミュージックキャラバン

日程：1月28日（水）

場所：15:00~ 洛和会音羽病院 D棟地下1階
15:30~ 洛和会音羽リハビリテーション病院 テラス棟 らくまちテラス
16:00~ 洛和会京都看護学校 図書室「Library MIO」

費用：無料 ※事前申し込み不要

イベント内容は
変更する可能性
があります。
最新情報は当会公式
Xでご確認ください。



カルテット・アトリエによる
弦楽四重奏をお楽しみください！



©栗山 主税

洛和会音羽リハビリテーション病院が日本初認定! AFHS

~いつまでも自分らしく暮らせるケアを~

患者さんの高齢化が進む中、病気やケガが治ることがゴールとは限らない例が増加しています。当会では「高齢の方に向けたやさしい医療」を目指し、AFHSを取り入れました。

ハーバード大学マサチューセッツ総合病院 緩和老年医学科の指導医 横口雅也氏をお招きし、看護師・薬剤師・リハビリテーション職などの各職種が患者さんに対しどれだけの情報を持ち理解できているのかを整理しながら、考え方について学びました。



AFHSとは?

Age-Friendly Health Systems(エイジフレンドリー・ヘルスシステム)の略で、米国で進められている、高齢の患者さんの病気やケガが治った後もQOLを保てるよう、安全な医療を提供することを目的とした取り組みです。



キーワードは「4つのM」

AFHSは「4つのM」を骨組みとしています。まずは患者さんにとって何が大切か(What Matters)を生活の中で聞き、出た要望や意見を認知(Mentation)・薬(Medication)・自立・身体機能の向上(Mobility)に生かせるよう、各職種での連携を行います。患者さんの情報をさらに把握と理解ができるよう、患者さんご家族にもヒアリングを行いました。

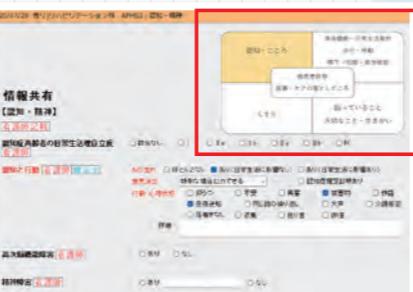


日常の実践が評価に Level1とLevel2の認定へ!

電子カルテに共有シートと図を追加

電子カルテにそれぞれが入力できる情報共有シートを追加。入力画面の上部には今入力していることが4Mのどれにあたるのかがわかるような図を配置しました。

スタッフ誰もが自然と4Mを意識できる



共有シートを退院支援カンファレンスにも!

共有シートを生かし、居宅介護支援事業所や訪問看護などへスマートなつながりが持てるよう体制を整えました。

確認しながらその場で入力も可能



Level1(2024年末認定)

4Mを理解した上で実践し、情報共有や状況改善などができる状態

Level2(2025年8月認定)

Level1を3ヶ月継続し、高齢の患者さんの人数も把握できている状態

認定のためではなく、どの職種も高齢の患者さんにとってよりよいケアになるよう、取り組みを継続・改善しています。

横口雅也氏と当会理事長 矢野裕典との対談動画はこちらから



お問い合わせ

洛和会音羽リハビリテーション病院
TEL 075(581)6221(代)



24時間365日

洛和ヘルパーステーション丸太町

自宅で過ごす高齢者を支える定期巡回サービス

2025年10月に訪問介護サービスを提供する洛和ヘルパーステーション丸太町で、定期巡回サービスを開始しました。介護士と看護師が「自宅で過ごしたい」という高齢者の思いに寄り添いながら在宅生活を支えます。

定期巡回サービスって何?

定期巡回サービスは正式には「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と言います。在宅生活を送る高齢者を24時間365日支援する介護サービスです。ホームヘルパーによる一日複数回の定期巡回と、必要に応じた随時訪問、緊急時に看護師が訪問する訪問看護の3つのサービスを一体的に提供します。担当ケアマネジャーが作成したケアプランを元に、サービス内容を決定します。ひと月の利用料は定額です。



①定期巡回

ホームヘルパーによる一日複数回の定期巡回

②随時訪問

緊急時に看護師が訪問する訪問看護

③訪問看護

褥瘡などで医療処置が必要な方は、週に1回、看護師が訪問

②随時対応・随時訪問

日中お一人で生活されている中で、支援が必要なタイミングでホームヘルパーが訪問し、サービスを提供。例えば、起床時や就寝時の着替えや服薬のタイミング、定期的な見守りなど、訪問介護では対応が難しい短時間訪問や1日3回以上の排せつ介助のための訪問など、生活状況に応じた柔軟な対応が可能です。

対象者

・事業所がある市町村に住んでいる方
・介護保険の要介護認定を受けている方(要支援の方は利用できません)

例えばこんな時…

- ・ご自身で服薬や排せつが難しい…
→服薬・排せつのタイミングに訪問します!
- ・一人暮らしの母が、体調不良で倒れたり転倒したりしていないか…
→安否確認のための訪問が可能です!
- ・病院を退院したけど、一人での生活が不安…
→生活リズムをつくるようにホームヘルパーがお手伝いします!



そのほか、暑い時期は水分補給、寒い時期は室温調整ができるかを確認するために訪問します。また、体調がすぐれない時は、訪問回数を増やすこともあります。

病院を退院直後は、どのような支援が必要なのか分からぬことが多い、
ケアを継続する中で摸索しながら必要に応じて支援内容を検討・提案しています。



洛和会のサービス付き高齢者向け住宅の入居者さんを対象に始めたサービスですが、ご自宅で生活されている高齢者さんからのニーズも多く、地域での展開を開始しました。現在は、ケアマネジャーの皆さんにサービスの特性を知らせるためのセミナーを定期開催し、住み慣れた地域・自宅での生活を希望される方々に選んでいただけるサービスになるよう日々奮闘しています!

洛和ヘルパーステーション丸太町 課長 福岡 良太



定期巡回サービスの紹介動画はこちら

やさしい未来の種をまく ★ キラメキ Worker's

このコーナーは
「やさしい社会を創造する。」をテーマに
「生き生きと働く職員」を紹介します！

限られた時間で最大限の効果を引き出す

整形外科疾患の外来リハビリを行っています。主に肩や膝、腰が痛いという中高年の患者さんを担当しています。外来リハビリでは、週に1回という限られた時間の中でいかにリハビリを行い効果を出すかがとても重要です。短い時間で最大限の効果を引き出すために日々奮闘しています。

丸太町リハビリテーションクリニックは設備が整っていて、さまざまな機器を用いたリハビリが行えます。また、治療して終わりではなく、治療後も併設している洛和メディカルスポーツ京都丸太町で運動を継続される方が多いので患者さんが回復していくのを間近で感じることができ、やりがいを感じます。



学会や勉強会に積極的に参加！

理学療法の知識を深めるために学会や勉強会に積極的に参加しています。さまざまな病院の先生や理学療法士の研究成果を聴き、そこで得た知識を日々の業務に生かしています。また、私自身が臨床の現場で疑問に思ったことを研究し、学会で発表することもあります。今後も学会や勉強会に参加し、積極的に研究を続け、治療が難しい患者さんのリハビリを任される理学療法士を目指します。

自立支援と一人一人が望む生活を

洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館は、障がい者支援施設です。利用者さんの「自立支援」を大切にしており、一人一人のできることを尊重しながら、どのように支援すればその力を伸ばせるかを重視しています。

利用者さんそれぞれの「その人らしい生活の実現」を目標に掲げ、職員同士が連携しながら、利用者さんをサポートしています。



できる部分を伸ばす支援

私が介護の仕事で大切にしているのは、“何でも手伝う”ではなく、“できる力を奪わない支援”です。利用者さんの一つ一つの動作に目を向け、今どこまでできるのか、どんなサポートがあれば、自分でできる部分がより良い方に伸びるのかを常に考えながら関わっています。

また、理学療法士と協力し、身体機能の改善や生活の質を高めることにも力を入れています。少しずつできることが増えていく姿と一緒に見守ることが、この仕事のやりがいです。

これからも、利用者さんの目標や思いに寄り添うだけでなく、実現に向けて行動を起こせる介護福祉士でありたいと思っています。



vol.11

丸太町リハビリテーションクリニック
リハビリテーション部 理学療法士

かど た み さき
門田 美咲



vol.12

洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館

や じま なつ き
矢島 夏希

※副部長以上の医師を掲載しています

洛和会の診療部へ着任しました。よろしくお願いいたします。

New Face

新着ドクターのご紹介

洛和会音羽病院 産婦人科

1/1
着任

副部長 古武 陽子
■ 専門領域
婦人科腫瘍
産婦人科一般

洛和会音羽リハビリテーション病院 在宅医療支援センター 1/1
着任

副部長 戸城 仁一
■ 専門医認定・資格など
日本産科婦人科学会産婦人科専門医/指導医
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医
医学博士



地域と育てる 未来を耕す

山科の農地に、もう一度「息吹き」を

山科には、高齢化や担い手不足により、耕作が行き届かなくなった農地が目立ちます。洛和会では、その地域課題に向き合い、使われなくなった土地を活用し、地域の健康づくりにつなげる新たな取り組みとして「農業事業」を開始しました。農地は、洛和会の公式キャラクター「らくの助」にちなみ「らくの助ファーム」と名付けました。1,560m²のハウスで、現在トマトを栽培しており、最盛期には月間5,000kg超の収穫を見込んでいます。



(左) 農地貸主 木村 喜代一さん
(右) 当会看護師 大鐘



看護師のまなざしで、トマトを育てる

このプロジェクトを牽引するのは、看護師の大鐘由晴です。大鐘は、兵庫県有数のトマト農家「東馬場農園」で1年間の技術研修を受け、環境制御システムや養液栽培などのスマート農業技術を習得しました。これらの技術を生かし、安全で安定した生産体制の確立に努めています。医療の現場から農業へとフィールドを移し、再び“いのち”と向き合う仕事に取り組んでいます。「トマトも人と同じで、ちょっとした変化を見逃さないことが大事」。看護師時代に培った観察力は、栽培管理にも生かされています。



看護師が本気でつくったトマト
ミニトマト1袋220円・大玉トマト1袋300円
※直売所販売価格 2025年11月時点

なぜ、医療法人が農業を？

洛和会の農業事業は、医療・介護・保育に続き、“食”の分野からも地域の健康を支えていきたいという思いから長年の構想を経て実現しました。「安心・安全な食べ物を口にし、体の中から健康を整えること」。それこそが予防医療の原点であり、洛和会ヘルスケアシステムが地域の健康促進のために取り組む農業事業の本質と考えています。今後は、食の面からも地域の笑顔を広げていけるよう努めてまいります。

洛和会音羽病院 看護師 大鐘由晴

地域の方の協力があり、
販売も始まりました！
今後は収穫体験も考え中！
みんなのオアシスを目指します



ココで買えます！

- マツヤスーパー山科三条店、大宅店、ピア店
- アイハート西院店
- スーパー山田屋桃山店
- 直売所 洛和会音羽病院と本館西側通路付近
毎週火曜日11:00～13:00
※収穫状況により変更あり



最新情報



洛和会ヘルスケアシステム

医療法人社団 洛和会
京都市中京区西ノ京車坂町9

医療法人 和宏会
京都市中京区西ノ京車坂町8

社会福祉法人 洛和福祉会
京都市伏見区桃山町大島38-528

学校法人洛和学園
京都市山科区音羽ハノ坪53-1

洛和会ヘルスケアシステム 本部
京都市山科区音羽ハノ坪51-4
☎ 075(581)1763(代)

お手持ちのスマートフォンで
右のコードを読み込むと、
各施設のマップを見ることができます。



医 療

病 院

洛和会丸太町病院
〒604-8401 京都市中京区七本松通丸太町上ル
☎ 075(801)0351(代)
予約 ☎ 0120(489)244 医療関係者向け ☎ 075(801)0372(地域連携課)

洛和会音羽病院
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2
☎ 075(593)4111(代)
予約 ☎ 0120(489)300 医療関係者向け ☎ 0120(607)489(地域連携課)

洛和会音羽記念病院
〒607-8116 京都市山科区小山鎮守町29-1
☎ 075(594)8010(代)

洛和会音羽リハビリテーション病院
〒607-8113 京都市山科区小山北溝町32-1
☎ 075(581)6221(代)

●医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

クリニック

矢野医院
☎ 075(341)8116

すげた耳鼻咽喉科クリニック
☎ 077(594)2505

二条駅前クリニック
☎ 075(803)1236

大津ファミリークリニック
☎ 077(526)8239

丸太町リハビリテーションクリニック
☎ 075(802)9029

らくわ往診クリニック四条
☎ 075(342)3746

淀みづクリニック
☎ 075(632)6116(代)

洛和会東寺南クリニック
☎ 075(672)7500(代)

洛和メディカルスポーツ京都丸太町(医療法第42条施設)
☎ 075(802)9030

介 護

在宅サービス

洛和会医療介護サービスセンター丸太町病院
☎ 075(801)0351(代)
洛和会医療介護サービスセンター音羽病院
☎ 075(593)0730
洛和会医療介護サービスセンター音羽記念病院
☎ 075(594)8010(代)
洛和会医療介護サービスセンター
音羽リハビリテーション病院
☎ 075(581)6221(代)
老人介護支援センター洛和ヴィラ桃山
☎ 075(622)2231

住宅介護支援事業所

洛和会医療介護サービスセンター北野白梅町店
☎ 075(466)5135

洛和会医療介護サービスセンター北大路店
☎ 075(491)8891

洛和会医療介護サービスセンター丸太町店
☎ 075(802)9111

洛和会医療介護サービスセンター三条会店
☎ 075(801)0370

洛和会医療介護サービスセンター右京山ノ内店
☎ 075(323)5722

洛和会医療介護サービスセンター右京常盤店
☎ 075(863)6834

洛和会医療介護サービスセンター東大路店
☎ 075(708)1001

洛和会医療介護サービスセンター四条鉾町店
☎ 075(341)7007

洛和会医療介護サービスセンター西京桂店
☎ 075(382)3208

洛和会医療介護サービスセンター醒醐駅前店
☎ 075(575)3763

洛和会医療介護サービスセンター淀店
☎ 075(633)6015

洛和会医療介護サービスセンター大津店
☎ 077(522)6917

居宅介護支援事業所北花山
☎ 075(582)0776

居宅介護支援事業所山科
☎ 075(583)6346

介護事業部
☎ 075(593)4078(代)

通所介護

洛和会訪問看護ステーション醍醐駅前
☎ 075(575)5011

居宅介護支援事業所音羽

☎ 075(584)0004

洛和会医療介護サービスセンター音羽病院

☎ 075(593)0730

洛和会医療介護サービスセンター音羽記念病院

☎ 075(594)8010(代)

洛和会医療介護サービスセンター

音羽リハビリテーション病院

☎ 075(581)6221(代)

老人介護支援センター洛和ヴィラ桃山

☎ 075(622)2231

地域包括支援センター

高齢サポート・朱雀京都市朱雀地域包括支援センター

(京都市委託事業) ☎ 075(801)1384

高齢サポート・音羽京都市音羽地域包括支援センター

(京都市委託事業) ☎ 075(595)8139

地域介護予防推進センター

京都市中京区地域介護予防推進センター

(京都市委託事業) ☎ 075(801)0389

訪問看護

洛和会訪問看護ステーション壬生

☎ 075(803)1552

洛和会医療介護サービスセンター西京桂店

☎ 075(382)3208

洛和会医療介護サービスセンター醒醐駅前店

☎ 075(575)3763

洛和会医療介護サービスセンター淀店

☎ 075(633)6015

洛和会医療介護サービスセンター大津店

☎ 077(522)6917

居宅介護支援事業所北花山

☎ 075(582)0776

居宅介護支援事業所山科

☎ 075(583)6346

地域密着型サービス

グループホーム

洛和グループホーム二条城北
☎ 075(451)1160
洛和グループホーム西ノ京
☎ 075(813)5720
洛和グループホーム壬生
☎ 075(803)1557
洛和グループホーム太秦
☎ 075(873)2114
洛和グループホーム右京山ノ内
☎ 075(325)5778
洛和グループホーム右京常盤
☎ 075(863)5643
洛和グループホーム花園
☎ 075(461)0900
洛和グループホーム西院
☎ 075(325)5815
洛和グループホーム百万遍
☎ 075(706)6760

施設サービス

介護医療院

洛和ヴィラよつば
☎ 075(632)6116(代)

高齢者向け住宅

サービス付き高齢者向け住宅
洛和ホームライフ北野白梅町
☎ 075(465)1601
洛和ホームライフみ音羽
☎ 075(584)0001

保育

子ども未来事業部
☎ 075(593)4050
洛和なごみ保育園
☎ 077(582)5670
洛和東桂坂保育園(認可保育園)
☎ 075(382)1050
洛和桂小規模保育園(小規模保育事業)
☎ 075(383)8162
洛和桂小規模保育園(小規模保育事業)
☎ 075(595)2452
京都市花山児童館(指定管理)
☎ 075(592)0742
守山市立吉身保育園(指定管理)
☎ 077(582)4711
洛和みのすと保育園(認可保育園)
☎ 077(514)2035

教育

洛和会京都看護学校
☎ 075(593)4116(代)
洛和会介護教育センター
☎ 075(354)7067

研究

洛和会京都医療介護研究所
洛和会京都音楽療法研究センター
☎ 075(581)6221(代)
洛和会京都医学教育センター
☎ 075(593)4111(代)
洛和会学術支援センター
☎ 075(593)0417

障がい福祉

洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館(障害者支援施設)
☎ 075(622)2181(代)
障がい者就労支援事業所 らくわ
☎ 077(510)0112
株式会社はらくわたし
☎ 075(581)0100
洛和ライフアーカイブ(くわくわやましら)
☎ 075(583)2815
Medical Design Create
(洛和会本部広報部門)
☎ 075(594)8488
らくの助ファーム
☎ 070(1277)6651

洛和グループホーム大山崎

洛和グループホーム桂
☎ 075(382)3121
洛和グループホーム久世
☎ 075(959)7020
洛和グループホーム宇治
☎ 0774(23)3430
洛和グループホーム京田辺
☎ 0774(68)1266
洛和グループホーム八幡橋本
☎ 075(971)6282
洛和グループホーム大津
☎ 077(511)4025
洛和グループホーム大津若葉台
☎ 077(534)7840
洛和グループホーム山石寺
☎ 077(534)2380
洛和グループホーム坂本
☎ 077(578)5535
洛和グループホーム守山大門
☎ 077(583)7872
洛和グループホーム瀬田
☎ 077(544)3190

看護小規模多機能型居宅介護

洛和看護小規模多機能サービス壬生
☎ 075(803)1550
洛和看護小規模多機能サービス音羽
☎ 075(595)3295

小規模多機能型居宅介護

洛和小規模多機能サービス花園
☎ 075(461)0950

洛和小規模多機能サービス西院
☎ 075(325)5885

洛和小規模多機能サービス山科西野
☎ 075(594)8500

洛和小規模多機能サービス伏見竹田
☎ 075(645)5752

洛和ヴィラ天王山

☎ 075(959)7007

介護老人保健施設

洛和ヴィライリオス
☎ 075(801)0377(代)

紹介事業部門

FAN³(ファンキュービック)
☎ 0120(045)507

健 康

洛和会京都健診センター
[洛和会音羽病院 健診センター]
☎ 075(593)7744
予約 ☎ 0120(050)108
[洛和会東寺南クリニック 健診センター]
☎ 075(672)7556

東 京

■介護
《南麻布》
居宅介護支援事業所洛和ヴィラ南麻布
☎ 03(6408)8674
洛和キッズアフタースクールもりやま
☎ 077(581)8000
洛和若草保育園
[洛和会音羽病院 院内保育室・事業所内保育事業]
☎ 075(593)7759
洛和会音羽病院 病児保育室 よつば
☎ 0120(428)414
洛和イリオス保育園(企業主導型保育事業)
☎ 075(813)1011

■保育
洛和大塚みどり保育園(小規模保育事業)
☎ 03(5395)0777

音羽の森 夢殿

患者さんの心のよりどころに
音羽の森 夢殿
洛和会音羽病院のC棟北側に「音羽の森 夢殿」があります。堂内には薬師如来像、両界曼荼羅図、薬師三尊図の5点の仏画が安置されています。



※2026年1月1日時点の情報です

一般財団法人 矢野一郎記念財団 脳・心血管疾患治療研究センター 設立

2025年7月、一般財団法人 矢野一郎記念財団 脳・心血管疾患治療研究センターを設立しました。洛和会ヘルスケアシステム 会長 矢野一郎が設立したこのセンターは、脳血管障害、神経難病などの神経疾患と心疾患に対する卓越した疾患治療のための基礎的・応用的臨床研究を行うとともに、次世代の医療を担う若手医師の成長を支援するため人材育成活動の振興により学術及び科学技術の発展に寄与し、その成果を広く社会へ還元することを目的としています。

主な事業内容

- 医師等への充実した臨床研究の指導と実施
- 医師等への臨床研修や臨床研究を目的とした海外留学の支援
- 臨床研究支援、治験支援、学会発表・論文発表の支援
- 体系的な医師育成研修プログラムの提供
- 疾患治療の研究に必要な設備を備えた施設の運営
- など

洛和会音羽病院が「一次脳卒中センター(PSC)コア施設」に認定

洛和会音羽病院は2025年に日本脳卒中学会から「一次脳卒中センター(PSC)コア施設」の認定を受けました。これは、脳卒中の治療法である機械的血栓回収療法やt-PA療法(血栓溶解療法)に加えて、機械的血栓回収療法が24時間365日行える体制が整っており、地域の脳卒中治療の中核を担う病院が認定されるものです。

洛和会音羽病院には5人の脳神経外科専門医と3人の脳血管内治療専門医が在籍して診療にあたっています。今後も多様な症例に対応できるよう努め、地域の皆さんの健康を守ってまいります。



認定基準

- ・一次脳卒中センター(PSC)に認定されている
- ・日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会*認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上である
- ・血栓回収治療の実績が年間12例以上ある
- ・血栓回収治療に24時間365日対応可能である
- ・脳卒中相談窓口を設置している

一次脳卒中センターの認定条件(8項目)に加えて上記5項目を満たしている施設が認定を受けられます。

*3学会…日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本脳神経血管内治療学会

洛和会音羽病院
脳卒中センター



京都初!「ブラック・ジャック セミナー」を洛和会音羽病院で開催 [11月29日]

洛和会音羽病院で体験型医療講習「ブラック・ジャック セミナー」が開催され、医療職を目指す中高生31人が参加しました。洛和会所属の現役医師13人と看護師が指導にあたり、参加者は、縫合、内視鏡、心臓カテーテル、超音波メス、救命措置といった本格的な医療技術を約3時間にわたり体験。「手術の難しさが体感できた」「自分がどんな医師になりたいか考えるきっかけになった」「学力だけでなく集中力・体力・人間力が必要と感じた」など、リアルな体験を通して将来の夢へとつながる学びを得ました。今後も洛和会は未来の医療を担う次世代の育成に積極的に取り組んでまいります。



共催:洛和会音羽病院、洛和会丸太町病院、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

洛和会会報誌 らくわ 新年号 vol.155

発行/洛和会ヘルスケアシステム

発行日/2026年1月10日 編集/Medical Design Create 編集責任者/神田 貴庸

印刷/佐川印刷株式会社

表紙写真/洛和会音羽記念病院 病院長 兼 洛和会京都腎臓病センター センター長 兼 同院 透析センター 透析センター長 廣川 隆一

腎臓透析外科 医長 澤田 幸史

題字/矢野 満子

※本誌の取材は十分な感染対策を行った上で実施し、撮影のため一時的にマスクを外しています。



LINE



Instagram



YouTube

京都の暮らしを支える医療と健康のメディア
RAKU

